

有**20普通科連隊広報紙** 発行所/山形県防衛協会



第20普通科連隊ホームページアドレス https://www.mod.go.jp/gsdf/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊

●第2中隊

●第1中隊 ●重迫撃砲中隊

●第3中隊

●第4中隊

KAJYO











隊区担当中隊

No.720





Contents

- ●第4中隊・情報小隊・通信小隊が任務完遂 「令和4年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施
- ●真室川町自衛隊家族会が理解深める 「駐屯地見学」に協力

3ページ

- ●事故の絶無へ「令和4年度連隊安全の日」を実施
- 「令和4年度新隊員特技課程及び第18期一般陸曹 候補生課程後期教育修了式」を実施
- ●融和団結を図る 「令和4年度第1回予備自衛官招集訓練」を実施

4ページ

- 「令和4年度天童市総合防災訓練」に参加
- ●県内各地で車両展示「PCO 広報展」 に協力
- ●隊員紹介コーナー
- ●定年退官者紹介
- ●昇任おめでとう!
- ●各種表彰
- ●11月行事予定



9月24日(土)から26日(月)までの2夜3日にわたり、王城寺原演習場(宮城県)において「令和4年度第場(宮城県)において「令和4年度第場にた。

本訓練検閲は、第4中隊(中隊長本訓練検閲は、第4中隊(小隊長・柿崎3尉)が課目「支作戦正面を担当し、独立的に行動する増強普通科中隊としての行動」、情報小隊(小隊隊としての行動」、通信小隊(小隊隊としての行動」、通信小隊(小隊隊としての行動」、通信小隊(小隊時としての行動」、通信小隊(小隊時としての行動」、通信小隊(小隊上部けるシステム通信組織の構成・維持・運営」における部隊の基本的維持・運営」における部隊の基本的

高進することを期待する。」と訓示し 要望し「全隊員が一丸となり任務に 理・安全管理を徹底せよ」の3点を 理・安全管理を徹底せよ」の3点を 理・安全管理を徹底せよ」の3点を 理・安全管理を徹底せよ」の3点を が員の基礎的動作の確行」「健康管 は、実践」「部隊の基本的行動及び 現化・実践」「部隊の基本的行動及び

情報小隊は24日早朝から夕にかけ、船形山一帯を経路とした約15㎞け、船形山一帯を経路とした約15㎞け、船形山一帯を経路とした約15㎞け、船形山一帯を経路とした約15㎞がら雨が降りしきり、かつ山頂付がら雨が降りしきり、かつ山頂付が。また、24日夕から25日早朝、た。また、24日夕から25日早朝、た。また、24日夕から25日早朝、た。また、24日夕から25日早朝、た。また、24日夕から25日中朝、た。

を報告する等、一連の行動を実施し、を実施、システム通信組織の構成・権持・運営に取り組んだ。情報小隊維持・運営に取り組んだ。情報小隊が開放した戦場監視網によって敵情は構成した戦場監視網によって敵情が、通信小隊は有線構成等

26日早朝、第4中隊は目標への26日早朝、第4中隊は目標への攻撃を容易にするため対戦車火器を攻撃を容易にするため対戦車火器を攻撃を容易にするため対戦車火器を攻撃を容易にするため対戦車火器を攻撃を実施し、見事目標地域を奪取

務を完遂した。 ともに、受閲部隊が一致団結して任問わず与えられた任務に邁進すると門のであり、昼夜中、全隊員が士気旺盛であり、昼夜中、全隊員が出気田盛であり、昼夜

び教訓について認識を共有した。 基礎的動作のほか戦闘様相、成果及部基本基礎班の統制により、隊員の部基本基礎班の統制により、隊員の調練終了後の研究会が行われ、統裁



優秀隊員紹介】



駐屯地見学には真室川町自衛隊「駐屯地見学」に協力した。おいて駐屯地広報班が実施するおいて駐屯地広報班が実施する

曹長が職場を紹介した。また、真隊を見学し、中隊長及び先任上級隊を見学し、中隊長及び先任上級家族会44名が参加し、真室川町隊を見びれ名が参加し、真室川町自衛隊

しんだ。 生の皆様と体験喫食及び懇談を楽 室川町出身である隊員2名が家族





事故の絶無へ「令和4年度連隊安全の目」を実施

参拝後、各中隊計画で 安全管理教育を実施し、 訓示を述べた。慰霊碑

埋の両輪を確立させ、精強な部隊の育成に努めよ。」と が「我々の任務の特性上、常に危険と隣り合わせにある。 断をすることが重要である。厳しい訓練、厳正な安全管 女全管理は一人ひとりが危険見積を立て、正しい状況判 禹の殉職隊員に対して黙祷を捧げ、連隊長 (荒木1佐)



安全の日」に伴い慰霊碑参拝及び安全教育を行った。 ての実施となった。 **基礎となる部隊の訓練検閲を実施するため、時期を早め** 不、連隊安全の日は9月26日であるが令和4年度第2次 慰霊碑参拝には、各中隊代表10名が参加し、連隊所 9月22日(木)、神町駐屯地において「令和4年度連

の身の安全について啓 防止し、自己及び同僚 故を風化させることな 連隊で発生した訓練事 るとともに、過去に20 発することを目的とし 対する認識を深めた。 の5柱の御霊を追悼す **嬋の2柱、特に2連隊** 訓練事故の発生防止に 「安全の日」は、慰霊 、訓練事故を未然に





線部隊である各中隊へ配属され、

ていた。 現し、連隊の女性活躍推進施策である「L となり、全中隊への女性自衛官配置が実 充を図っていく。 ady Go!プロジェクト」は更なる拡 4中隊の迫撃砲小隊に女性自衛官が配置 んだことを実践したい。」と決意を新にし また今回、第2中隊、第3中隊及び第





和4年度新隊員特技課程及び第18期一般 連隊長 荒木ー佐)を実施した。 陸曹候補生課程後期教育修了式」(執行者

2士(天童市出身)が教育修了申告及び 隊1班 井上祐人(いのうえ 陪列した。新隊員を代表して軽火器2区 最先任上級曹長、各幕僚及び各中隊長が 式には教育を修了した軽火器区隊38 迫撃砲区隊23名の計6名が参加し、 ゆうと)

【服務優秀中隊】

(無事故500日達成) ·本部管理中隊

【新隊員教育隊機関要員に対する臨時表彰】

○第4級賞詞 (職務遂行による功績)

第1中隊 2曹 新野 直彦 ・第2中隊 曹長 星 和友 ○第5級賞詞 (職務遂行による功績)

·本部管理中隊 3曹 政樹 3曹3曹 今田 大貴 同 堀越 -- 史 第3中隊 春生 · 第 4 中隊 3曹 佐藤 ·重迫擊砲中隊 3曹 鈴木 晋

【連隊長褒章メダル】

(訓練検閱優秀隊員)

·本部管理中隊 3曹 潤 髙橋 三浦岩崎 3曹 裕介 2曹3曹 ・第4中隊 幹生 大河原祐也 渋井 根本 3曹 同 洋佑 同 3曹 翔太 同 士長 浅間 颯斗 (副連隊長伝令下番の功績)

【令和4年度(2/四半期)情報資料提供 優秀隊員】

士長

阿星

日向

(優秀隊員)

第4中隊

提供件数 38件

重迫擊砲中隊 3曹 髙橋 一輝

【情報管理ポスター及び標語最優秀作品】

(ポスターの部)

重迫擊砲中隊 士長 二瓶 実里 (標語の部) ·本部管理中隊 阿部 1士

「その写真 盛れているけど 漏れ ている」

【第2陸曹教育隊上級陸曹教育中隊長よ り褒賞状】 (第13期陸曹中級課程において成績優

秀) 2曹 · 第 1 中隊 遠藤 功雄

【第2陸曹教育隊普通科中隊長より褒賞状】 (第141期陸曹候補生課程臨時助教の 功績)

第2中隊 3曹 鈴木 康平

【令和4年度後期(師団)情報管理検査優 秀隊員】

(秘密保全) 本部管理中隊 2曹 大澤 裕仁 (情報保証) 第1中隊 3曹 佐藤 俊喜 (個人情報)
・重迫撃砲中隊 2曹 五十嵐清和 (行政文書管理)

【令和4年度後期(師団)物品管理検査優 秀隊員】

2曹

簾内

輝

本部管理中隊 3曹 有路幸太郎 2曹3曹 ·第1中隊 菅井 奈穂 ·第3中隊 原田 康平 第4中隊 渡部 泰誠

【9月警衛勤務優秀らっぱ手】

第1中隊

重迫擊砲中隊 士長 二瓶 実里 (28日上番)

月行事予定

. ゃまのべまるごと 3 日(木·祝) フェスタ(PCO広 報展協力)

6日(日) · 白鷹町産業フェア (PCO 広報展協力)

.(【】日(金) 日(月)~

· 小規模演習場整備

13日(金)~25日(金)

連隊射撃野営・基礎となる部隊の訓 練検閲

永年の勤務、 お疲れ様でした。



· 重迫擊砲中隊 ・鈴木 善徳 准尉

· 9月21日付



橋本

彰弘

2曹

(左側)

本部管理中隊

·第1中隊

同

同

同

同

同

相内 好誠

小山内天星

渡部 義貴

紺野 倖聖

石山 海唯

誠

春輝 庄子

蔵人 嶋守

舟澤

本部管理中隊

親子で連隊勤務

·第2中隊

・丸藤 正浩 曹長 ·10月4日付

・酒田市在住

橋本 〇コメント 第4中隊 もって頑張ります。父を追い越せるよ 愛叶 1 ように目標を (右側)

ほどよろしくお願いします。に頑張ります。に頑張ります。のは様、親子共々ご指導の娘に追い越されないように必死



高木陸太郎

辻本 悠貴

昇任おめでとう!

(10月1日付)

○ 1 等陸士へ

・本部管理中隊

同

同

介 口 日本一の芋煮会フェスティバル(PCO広報展)

八重樫和磨

同

いた。

本訓練において、

災害時におけ

県内各地で車両展示

自治体及び関係機関との

また、

車両展示コーナーにお

トバイを展

与えられた任務を遂行した。



地域住民等の自衛隊の活動に対 しハツラツと受け答えを らは、記念撮影の依頼 多くの来場者が訪れ (駐屯地広報班が実施する広報展) 車両展示内容 イベント名 協力人員 9月18日(日) 日本一の芋煮会フェスティバル 第3中隊4名 高機動車•軽装甲機動車 10月2日(日) 令和4年度鶴岡市総合防災訓練 重迫撃砲中隊2名 高機動車 10月8日(土) 尾花沢もっとまるだし未来まつり 第1中隊3名 軽装甲機動車・オートバイ |10月9日(日) |さかた大繁盛ハロウィンまつり 高機動車 第2中隊2名 |10月9日(日)||第43回金山町産業まつり 第1中隊2名 軽装甲機動車

| L | 10月9日(日) | トラッ |) クのE | イベント | 第3中隊 | 2名 軽装 | 中機動車 | | 表 |
|------|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| | | | | | | | | | |
| · \$ | 第1中隊 | 弭間 | 莞次 | ・第2中隊 | 田宮守 | ・第3中隊 | 矢萩 一耀 | ・第4中隊 | 鈴木 義道 |
| | 同 | 武田 | 大波 | ・同 | 佐藤 実莉 | ・同 | 髙橋 一史 | • 同 | 山田 空 |
| • 9 | 第2中隊 | 髙橋 | 陽斗 | ・第3中隊 | 加藤 康佑 | ・同 | 宮林 蘭 | ・同 | 橋本 愛叶 |
| | 同 | 森谷 | 陽斗 | ・同 | 島津 壱星 | ・第4中隊 | 井上 祐人 | ·重迫撃砲中隊 | 原田 学 |
| | 同 | 石川 | 悠太 | ・同 | 伊藤 輝 | ・同 | 安食龍之介 | ・同 | 小松 海 |
| | 同 | 大石 | 優翔 | ・同 | 佐藤真斗偉 | ・同 | 星川 翔大 | ・同 | 今 一心 |
| | 同 | 燕崎 | | · 👨 | 会田 亜 | · 👨 | | · 👨 | 後藤 璉空 |

同

大泉 友優

トバイで偵察(操縦手 原田3曹) において、オートバイによる天童した。連隊は情報収集・伝達訓練われ、各関係機関及び団体が参加 達、 多目的無線機を使用して本部に伝 発揮し、 つつ、 害対処能力等について理解を深 示、天童市長をはじめ市民の方々 市内の偵察を実施した。 携強化を図ることができた。 る情報収集能力を向上させるとと が見学し、自衛隊の装備品及び災 て高機動車及びオー

災害発生地の悪路を想定

トバイの操縦手(原田3曹)

慎重かつ迅速な操縦技術を

被害状況について広帯域

3佐)斎藤3曹以下4名が参加し訓練」に第3中隊(中隊長 丸山机た「令和4年度天童市総合防災れた「令和4年度天童市総合防災が学校グラウンドにおいて実施さ では震度6強を観測、前日まで降下型の大規模地震が発生し天童市 壊した家屋より火災が発生、 数の負傷者が出ており、 め地震による土砂災害が発生、 り続いた雨で地盤が緩んでいたた 訓練は「村山市を震源とする直 発生、延焼 多

のおそれがある」という想定で行

会場は賑わ

いを見せた。

協力した隊員たちは、

する理解の促進と親近感の醸成を図ることができた。

軽装甲機助車

行うなど、

来場者を楽しませた。

快く応じたり、

寄せられた質問に対

連隊は、

広報展協力を通じ、

合防災

じに参

10月2日(日)、天童市立津

9月18日(日) PCO広報展」に協力 から10月9日

ぞれ協力し、車両展示を実施した。 に表記) において自衛隊山形地方協力本部及び駐屯地広報班が実施する広報展にそ イベント当日はいずれも晴天に恵まれ、 (日)までの間、 県内各地で実施されたイベント等の 別

| 萩 一耀 | ・第 | 4中隊 | 鈴木 | 義道 | |
|------|----|-------|----|----|---|
| 橋 一史 | | 同 | 山田 | 空 | |
| 林 蘭 | | 同 | 橋本 | 愛叶 | |
| 上 祐人 | ・重 | 迫撃砲中隊 | 原田 | 学 | |
| 食龍之介 | | 同 | 小松 | 海 | |
| 川 翔大 | | 同 | 今 | 一心 | |
| 池颯太郎 | | 同 | 後藤 | 璃空 | |
| 藤遵 | | 同 | 富樫 | 虹海 | |
| | | | | | J |

日発行 発行所/山形県防衛協会